



なつのがくも

号外(R6. 2. 1)

練馬区立光が丘夏の雲小学校
校長 宮林 伸之



本校ホームページ QR
コードです、スマホなどか
らも閲覧できます、ご活用
ください。

令和5年度 光が丘夏の雲小学校の教育についてのアンケートの結果から ～光が丘夏の雲小学校の教育活動をよりよくするための考えや意見を踏まえて～ 皆様のご協力に感謝いたします。

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。「令和5年度 光が丘夏の雲小学校の教育についてのアンケート」(学校関係者評価)の結果をまとめましたのでお知らせいたします。

今年度の回収率は62.4%でした。数多くの保護者の皆様からの貴重なご意見を頂きました。昨年度より、Google フォームを活用してのアンケートとなり、回収率が減少しつつあります。これは、児童数での回答ではなく、家庭数での回答にとどまってしまう現状が見られました。次年度以降、児童数での回答にご協力をお願いいたします。しかし、それでも300件以上の回答をいただけたこと、本当に感謝申し上げます。また、評議員の皆様からより広い視点でのご意見もいただきました。これらを次年度の学校教育の改善の貴重な資料とさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年度 光が丘夏の雲小学校の教育に関するアンケート

- ・ Google フォームを活用し、全児童数分でのアンケートを依頼
 - ・ 満足度を4～1で評価(0は分からない)
4とてもあてはまる 3だいたいあてはまる 2あまりあてはまらない 1あてはまらない
 - ・ 意見記入欄あり
- 【回収状況】 配布数 492 回収数 307 回収率 62.4%

1 各設問について～結果と考察～

※ 数値(%)は自動計算での四捨五入のため、合計が100にならないこともあります。ご了承ください。

(保護者・教職員) 学校は、教職員が協力して教育活動にあっている
.....
(児童) 楽しく学校に通っている

	4	3	2	1	0
保護者	59.9	36.8	0	0	3.3
児童	46.6	45.6	5.6	2.2	
教職員	65.2	34.8	0	0	

(児童・教職員考察)

教職員が協力の意識をもつことは当然として、児童数名が「楽しめない」と回答していることに課題があります。楽しめていない要因を追求しながら、児童に充実感をもたせられる教育の実践を目指します。

(保護者考察)4・3合わせて96.7%です。

肯定的な意見を多くいただきました。今回、否定的な意見が「0」回答だったことを本当に嬉しく思います。これは、本校が常日頃から「全児童を全教職員で見守る」ことを大前提とし、保護者の皆様にお伝えしていることが、結果に現れたと思います。本校では、管理職も含めて児童の情報を共有し、問題があれば学級・学年を超えて対応しております。今後もこの基本姿勢を崩さずに続けていきます。これに甘んじることなく、さらなる協働を目指し、精進して参ります。

(保護者・教職員) 学校は、分かる授業、身に付く授業、表現する授業に努めている。

(児童) 学習内容が分かっている。

	4	3	2	1	0
保護者	43.3	49.2	2.3	0	5.2
児童	43.2	47.7	6.7	2.4	
教職員	39.1	60.9	0	0	

(児童・教職員考察)

教職員の約6割が3につけたことは、まだ改善できるという意識の表れです。授業に完成形はありません。現状を分析し、児童の「学習が分からない」という不安を取り除けていけるよう努めて参ります。

(保護者考察)4・3合わせて92.5%です。

肯定的な意見が9割を超え、否定的な意見も少数でした。しかし、厳しく見れば「とてもあてはまる」が約43%にとどまったことは課題です。教員の基本は授業で、授業は常に進化するものです。そのために教材研究があり、日々の児童の変容を見取る必要があります。本校の教員は先を見た計画を立てておりますが、より充実した授業を行えるように、教員同士が教え合い、切磋琢磨できる環境を整えていきます。また、それに専念できるよう、業務の改善も進めて参ります。

(保護者・教職員) 学校は、学力定着を図るための取組(家庭学習の取組、算数少人数指導、ノート指導、読書活動など)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

(児童) 自分から進んで学習することができる。

	4	3	2	1	0
保護者	44	47.6	4.2	0	4.2
児童	26.7	52.3	18.7	2.4	
教職員	73.9	26.1	0	0	

(児童・教職員考察)

昨年度同様、児童の約2割が「進んで学習できていない」と回答したことが大きな課題です。学習は言われてやるものではなく、自己実現のために自ら取り組むものです。主体的な学びを軸にした教育実践を目指します。

(保護者考察)4・3合わせて91.6%です。

児童の学力を定着させるためには、授業以外での取組も重要です。授業に合わせた家庭学習のサポート・6年間を見通したノート指導など、長期的な視野が必要です。また、本校では「よむよむ」の皆様も支援してくださっていますが、学びの裾野を広げる読書活動の充実も重要です。学校は、毎年教職員の構成が変わりますが、人が入れ替わっても基本方針が変わらないように、引継ぎをしっかりと行います。そして、家庭とも連携して、児童の主体的な学びを支えていきます。

(保護者・教職員) 学校は、挨拶や学校の決まりを守ることなど、集団生活を送る上で基本的な生活習慣が身に付くように指導している。

(児童) ①昨年度より、あいさつができるようになった。

②昨年度より、学校のきまりを守るできるようになった。

	4	3	2	1	0
保護者	55.4	39.1	2.6	0	2.9
児童①	49.5	41.6	5.9	3	
児童②	39.5	49.7	9.1	1.7	
教職員	60.9	34.8	4.3	0	

(児童・教職員考察)

昨年度に比べ、児童の意識も高まってきました。挨拶は継続と習慣化が大切です。大人が手本を見せ続けることが必要です。きまりも「なぜそのきまりがあるのか」を、日頃から考えさせることを目指します。

(保護者考察)4・3合わせて94.5%です。

肯定的な意見を多くいただきました。「とてもあてはまる」の回答が5割を超えたことは、日々の取組が保護者の皆様にも浸透してきていることを表していると思います。挨拶に関しては、校長自らが毎朝校門の前に立ち、児童・保護者・地域の皆様にご挨拶をしております。校舎内でも、教職員から児童に挨拶をすることで、児童の自発的な挨拶の習慣作りを目指しています。児童から先に挨拶をされることも増えてきました。今後も本校の大切な文化として守って参ります。

(保護者・教職員) 学校は、スマイル活動(異学年交流)など、児童の豊かな関係づくりに努めている。

(児童) スマイル活動で、ほかの学年の子となかよくなった。

	4	3	2	1	0
保護者	58.6	35.8	1.3	0.3	3.9
児童	34.5	44.7	16.5	4.3	
教職員	69.6	30.4	0	0	

(児童・教職員考察)

児童の8割が有用性を感じる一方、約2割が充実感を得られていないことが見えました。異学年交流に恥ずかしさなどをもつ児童もいますが、まずは楽しむという姿勢を大切に、満足感が得られる取組を目指します。

(保護者考察)4・3合わせて94.4%です。

本校では、6年生が中心となり、全学年が活動をともにする「夏雲スマイル」を実施しています。単なる縦割り活動ではなく、児童の自主性を重視し、最高学年がその背中を見せることで、下級生が自然とその立ち位置を目指せるように、教職員が見守っています。昨年度から「スペシャルスマイル」と名付けた、長時間の交流活動も行っています。教職員の指導も大切ですが、児童同士が学び合う場も、必要不可欠な経験です。今後も児童の自主的な活動を支えて参ります。

(保護者・教職員) 学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。

(児童) 学校で困ったことがあったとき、先生や相談室の先生に相談することができた。

	4	3	2	1	0
保護者	44.6	45	4.2	0.7	5.5
児童	26.6	45.5	14.3	13.6	
教職員	65.2	30.4	4.3	0	

(児童・教職員考察)

この児童の結果は、「学校で困ったことがあった」と回答した児童のみの結果です。昨年度よりは改善しましたが、まだ3割弱の児童が相談しにくく感じていました。いざというときのために、日常からの信頼関係作りをさらに目指します。

(保護者考察)4・3合わせて89.6%です。

肯定的な意見が約9割と、数値を見れば昨年度よりも改善されてきましたが、まだ道半ばと考えています。「分からない」も5.5%あり、厳しく見れば、保護者の皆様との連携がまだ十分ではないことが結果に現れています。これは教育の根幹に関わる部分で、学校が保護者にとって、もっと寄り添える・信頼できる場にならなくてはなりません。この問題に特効薬はありません。日々の取組から信頼を得られる・安心感を与えられるように、取組姿勢を見直して参ります。

(保護者・教職員) 学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。

(児童) 体育の時間や休み時間に進んで体を動かしている。

	4	3	2	1	0
保護者	45.3	41.7	7.2	0	5.9
児童	49.2	35.4	13	2.4	
教職員	52.2	47.8	0	0	

(児童・教職員考察)

児童の約半数は積極的に体を動かしていますが、約15%は消極的な姿勢が見られました。コロナ禍では外遊びの制限等もありましたが、現在はありません。積極的に運動できる環境作りを目指します。

(保護者・教職員) 学校は、緊急時に備えて安全指導(避難訓練、毎月の安全指導、防災教育)、校舎内外の安全管理に努めている。

(児童) 避難訓練に真剣に参加している。

	4	3	2	1	0
保護者	61.2	35.2	1.3	0	2.3
児童	61.6	33.4	3	2	
教職員	78.3	21.7	0	0	

(児童・教職員考察)

本校は、避難拠点連絡会の皆様の取組などもあり、安全への意識は児童も高いことが分かりました。「自分の命は自分で守る」をより徹底し、日頃からの防災意識の高まりを、さらに目指していきます。

(保護者・教職員) 学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。

(児童) そうじの時間は、そうじをしっかりしている。

	4	3	2	1	0
保護者	55.7	40.4	2.3	0.7	1
児童	53.1	37.7	8.9	0	
教職員	43.5	47.8	4.3	4.3	

(児童・教職員考察)

児童の意識も、昨年度より向上しています。清掃への取組は意識のもち方が大切です。「掃除をやらされている」ではなく、「自分たちの場所を自分たちできれいにしている」と児童が思えるような指導を目指します。

学校は、学校だより、学年だより、ホームページ、保健だより、給食だよりなどで、学校の活動や取組を伝えている。

	4	3	2	1	0
保護者	68.1	30.6	0	0.3	1
教職員	82.6	17.4	0	0	

(教職員考察)

コロナ禍で学校の様子・児童の様子を伝えるのが難しくなりましたが、ホームページの充実や情報伝達の工夫など、新しく生まれた取組が教育活動を充実させています。今後も皆様に開かれた学校を目指します。

(保護者考察) 4・3 合わせて 87.0%です。

今回の調査で、肯定的な意見が最も低かった項目でした。「分からない」も5.9%あり、学校の取組が皆様に伝わっていない現状も見られます。本校では、縄跳びへの取組や持久走週間の実施など、学校を上げて取り組んでいることがありますが、まだ改善の余地はあります。また、体育の授業を通して、児童が運動に親しみをもち、より体を動かしたいと考えるようになることも大切です。自分から運動したい・外で遊びたいと思える児童の育成に、より積極的に努めて参ります。

(保護者考察) 4・3 合わせて 96.4%です。

昨年度に引き続き、多くの肯定的な意見をいただきました。本校の安全指導に対して、皆様からのご理解を得られていると、私たちにも励みになりました。一番大事なものは命です。学校は何にも優先して、児童の命を守らねばなりません。避難訓練の時だけでなく、日頃からの意識が大切です。本校では、避難拠点連絡会の皆様も毎月会合をもち、学校・地域の安全のために様々な取組を行っております。今の取組を今後も継続して参ります。

(保護者考察) 4・3 合わせて 96.1%です。

こちらも、半数以上が「とてもあてはまる」と回答をいただきました。校舎内の清掃・整理整頓を行うためには、日々の児童による清掃活動だけではなく、用務主事を中心とした教職員の環境整備が重要です。本校は今年度より業務委託の用務主事が、計画的に校舎内の清掃を実施し、環境整備に努めています。校舎が築30年を超え、砂埃などを完璧に防ぐことが難しいですが、児童が学習に集中できる校内環境を整えられるよう、これからも努力を続けて参ります。

(保護者考察) 4・3 合わせて 98.7%です。

この項目も、昨年度に続き高い支持を得られました。コロナ禍でどうやって学校の情報を発信していこうか試行錯誤を重ね、今のスタイルが構築されました。その努力が支持されていることは大きな自信と喜びになっています。保護者の皆様とのつながりを深く感じました。しかし、これに満足してはいけません。活動を継続し、今後も同じように皆様とのつながりを保つことが大切です。今後もホームページの充実等を目指し、工夫を考えて参ります。

学校は、学校公開、文化的学習発表会（学芸会、音楽会、展覧会）、講演会（セーフティ教室、道徳授業地区公開講座）などを通し、育てたい子供の姿を保護者、地域と共有し、連携して子供の教育にあたっている。

	4	3	2	1	0
保護者	62.2	35.2	0.3	0	2.3
教職員	78.3	17.4	4.3	0	

(教職員考察)

児童の教育は学校だけで行えるものではありません。保護者・地域との連携でさらに強固なものとなります。教職員も、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力に助けられています。今後ともよろしく願いいたします。

(保護者考察) 4・3合わせて 97.4%です。

こちらも多くの方の肯定的な回答をいただきました。「とてもあてはまる」が6割を超えたことも、保護者・地域の皆様との深いつながりを感じます。昨年度に比べ、学校公開の時間も増えました。行事の参観等も制限を減らしています。ホームページを活用した情報発信も大切ですが、直接児童の活動を見ていただくことが一番です。全てをコロナ前に戻すことは難しいですが、今できることを考え、保護者・地域の皆様と連携しながら、これからも児童の成長を支えて参ります。

より良くするための考え・意見に答えます

自由記述欄に、本校の教育活動に対する、たくさんの応援や激励の声、疑問や質問をいただきました。ありがとうございます。これらの声を聴き、今後の教育活動をどう進めていくのか、毎年考えております。全てのご意見・ご質問にお答えすることはできませんが、校内ではその声を受け止めて、しっかりと共有しております。ここでは、可能な範囲で、それらの声をご紹介します。

- ・ **学芸会、今回拝見してとてもよかったですし、子どもも家でとても練習したりして頑張っていて、やはり二年に一度にしてほしいなと思いました。(学芸会・音楽会・展覧会の3年に一度の開催に対するご意見多数)**
→夏雲小では学芸会と音楽会・展覧会を2年ごとに行っていましたが、実際は児童も教職員も負担が大きく、数年前から見直しを検討していました。同じ表現活動でも、児童が力を合わせて作品を創り上げ表現する喜びや達成感を味わう学芸会。音楽に親しみ良さや美しさを感じたり協力しながら創り上げたりすることの大切さを知る音楽会。自他の作品を鑑賞することにより互いに認め合い学び合う心を育てる展覧会。それぞれ目的があり、教育的意義も大きいです。また、子供たち一人一人においても、それぞれの場面で輝く姿があります。授業時数の関係や指導要領の改訂に伴い今後とも変化があると思いますが、ご理解いただければ幸いです。
- ・ **各学年の廊下にちょっとした本棚があるのを見ていますが、子供に聞くと結構汚い本や破れたり臭くなって読めない本があると聞きました。図書室以外の所にも直ぐ手を出して読める本があったらと思います。**
→児童の手の届く範囲に本があることは素晴らしいですが、その本の入れ替えには苦慮しています。図書館で廃棄になった本などを活用していますが、今後は地域の皆様にもご協力いただくなど、改善を検討していきます。
- ・ **外遊びが重要だとは思いますが、子供自らの希望、家庭の方針もあると思いますので、休み時間に強制的に外で遊ぶというのは、休み時間の本来の目的とは離れるのでは？と思っています。**
→児童の心身の成長には、運動も欠かせません。その運動とは体育の授業だけでなく、日常での「遊び」などを通した動く経験値です。体調不良など理由があれば無理は言いませんが、心身が健康で動ける状態であるなら、自由な遊びを通して動きの経験値を積んでほしいと考え、休み時間の外遊びを推奨しています。
- ・ **学校内の学級閉鎖の連絡を他の学年分も教えていただけると助かります。学校で病気が流行っているから自宅で友達と遊ぶのはやめさせて外にできるようにしよう、週末は出歩かずにいよう、など対策がたてやすいです。**
→感染症の流行は学年単位で広がることが多いので、本校では学級閉鎖時には該当学年に連絡を回しています。しかし、急速な拡大なども見られたため、どの範囲まで連絡するか、次年度に向けて検討して参ります。
- ・ **学校公開で同じような教科しか見られないことが残念です。特に英語の授業が見てみたいと思っています。英語にはあまり力を入れていないように思います。**
→3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語は、担任に加えてALTと外国語講師を交えて行っています。勤務の関係上、学校公開ではお見せする機会が作れていませんが、計画的に指導を行っています。ALTも講師の先生も大変素晴らしい方です。皆様の不安を払しょくするためにも、どこかで公開できないか検討して参ります。
- ・ **スマイル活動を通じて、他学年の子達と関わりを持つ機会があるのはとても良いと思います。子供も楽しんでいるようです。**
→夏雲スマイルのような異学年交流の場面では、子供たち同士が学び合い、大人ではできない関係作りができています。下級生が上級生の背中を見て学べることで、良い文化も継承されます。これからも継続していきます。
- ・ **先生方同士がとても仲良く楽しそうに見受けられます。職場の環境が良いと子ども達との接し方も良くなるはずですから、先生方の心身の健康がずっと守られるよう願っています。**
→温かいお言葉、ありがとうございます。児童の笑顔のためには、教員が笑顔でいなくてははいけません。教員が笑顔でいられない学校が楽しいわけがない。全員がいつも笑顔でいられるよう、これからも頑張ってお参ります。